

## (19) 財団法人 鳥取県栽培漁業協会経営状況報告書

### 一 法人の概要

- |           |   |
|-----------|---|
| 1 名 称     | 財団法人 鳥取県栽培漁業協会  |
| 2 目 的     | 水産動植物の種苗を生産するとともに、漁場の開発に努めることによって、栽培漁業を促進し、もって沿岸漁業の振興に寄与することを目的とする。   |
| 3 設立許可年月日 | 昭和56年3月25日  |
| 4 設立登記年月日 | 昭和56年3月27日  |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 232,850,000円<br>鳥取県出えん金 218,000,000円<br>関係市町村出えん金 11,600,000円<br>漁業協同組合出えん金 200,000円<br>漁業関係団体出えん金 3,050,000円  |
| 6 役 員     | 理 事 11人 監 事 2人<br>理 事 長 奥 谷 博 之 (鳥取県漁業協同組合東支所長)<br>副理事長 濱 邊 隆 俊 (鳥取県漁業協同組合淀江支所長)<br>専務理事 古 田 晋 平 (鳥取県栽培漁業センター所長)<br>理 事 榎 本 武 利 (岩美町長)<br>" 田 中 満 雄 (琴浦町長)<br>" 安 倍 和 海 (境港市副市長)<br>" 船 本 幸 作 (鳥取県漁業協同組合副組合長理事)<br>" 辰 巳 武 (鳥取県漁業協同組合酒津支所長)<br>" 中 嶋 辰 雄 (鳥取県漁業協同組合泊支所長)<br>" 金 岡 紀 史 (鳥取県漁業協同組合代表理事専務)<br>" 福 井 靖 子 (鳥取県消費者の会会長)<br>監 事 吉 本 幾 雄 (鳥取県信用漁業協同組合連合会常務理事)<br>" 小 谷 昇 (小谷昇税理士事務所長) |
| 7 職 員     | 10人   |
| 8 事 務 所   | 東伯郡湯梨浜町大字石脇1166番地   |

## 二 平成18年度事業実施状況

### 1 受託事業

#### (1) 種苗量産化試験

種 類	規 格	生 産 数 量
バ イ	殻 高 6 ~ 1 2 mm	1 4 . 1 千個
オ ニ オ コ ゼ	全 長 4 8 . 4 mm	1 0 千尾
イ ワ ガ キ	殻 高 1 0 mm ( 稚貝附着ホタテ殻 )	3 千枚
早期種苗ワカメ	高水温による枯死のため生産中止	-

#### (2) 栽培技術普及指導

##### 種苗放流

アワビ(16地区)、サザエ(12地区)の放流前の外敵駆除及び放流時の立会い指導及びその後の生残状況調査を実施した。

クルマエビ(1地区)の放流時の立会い指導、育成状況把握と生残状況調査を実施した。

##### 養 殖

ヒラメの養殖経営体4地区、アワビの養殖経営体3地区、ワカメの養殖経営体3地区、イワガキの養殖経営体2地区への技術の普及指導を行った。

##### 増 殖

イワガキの増殖事業に取り組む3地区への技術普及指導を行った。

#### (3) アラメ種苗生産

株縄150m、苗板150枚の生産を行い、県空港港湾課に引き渡した。

#### (4) アラメ藻場造成事業

漁業者が行う造成事業に対して技術指導を行った。

藻場の減少した海域及び、魚礁などにアラメの移植を行った。

#### (5) 標識用クルマエビの中間育成

体長28mmの種苗を体長59.0~73.8mmまで中間育成し、88.5千尾を栽培漁業センターに引き渡した。

#### (6) 施設の維持管理

栽培漁業センター業務に係る施設の維持管理及び保守を、施設・機器の点検手入れ基

準に従って行い、その適正な運転を確保した。

(7) とっとり賀露かっこ館飼育管理業務

「とっとり賀露かっこ館」で展示するカニ類等の水生生物を収集し、それらの飼育を行うとともに、かっこ館の管理運營業務を行った。

2 独自事業

(1) 種苗生産事業

種 類	規 格	生 産 数 量
放 流 用 ア ワ ビ 類	殻 長 3 0 mm	1 2 2 千 個
放 流 用 サ ザ エ	殻 高 9 mm	3 1 8 千 個
放 流 用 ク ル マ エ ビ	体 長 2 8 mm	2 , 6 0 0 千 尾
養 殖 用 ヒ ラ メ	全 長 5 0 mm	8 . 4 千 尾

(2) 展示養殖事業

種 類	規 格	生 産 数 量
ヒ ラ メ	全 長 3 2 0 mm	4 , 5 0 7 尾

(3) 地域栽培推進事業

漁業者から委託を受け、カサゴ35mmの種苗10千尾を80mmまで中間育成して引き渡した。

(4) 栽培漁業資源回復等対策事業

社団法人全国豊かな海づくり推進協会が行う、日本海中西部海域ヒラメ栽培漁業資源回復等対策事業に係るヒラメの市場調査を行った。

3 栽培技術実証研修

種苗生産に係る最新技術の情報収集及び新技術の実証研修を行った。



科 目		予算額	決算額	差 異	備 考	
		円	円	円		
	事業活動支出	84,836,198	82,582,031	2,254,167		
	1 管理費支出	58,444,000	58,386,686	57,314		
	(1) 職員給与費	53,694,000	54,176,000	0	会議費より 106,816円 事務費より 248,578円 栽培技術実証研 修費より 126,606円	
		482,000				
	(2) 会議費	135,000	28,184	0		職員給与費へ 106,816円
		106,816				
	(3) 事務費	4,015,000	3,766,422	0	職員給与費へ 248,578円	
		248,578				
	(4) 栽培技術実証研修費	600,000	416,080	57,314	職員給与費へ 126,606円	
		126,606				
	2 独自事業費支出	17,557,198	16,324,328	1,232,870		
	(1) 種苗生産事業費	15,402,000	13,217,046	964,152	損害等調整引当 金支出へ 1,220,802円	
		1,220,802				
	(2) 展示養殖事業費	2,599,000	2,466,302	132,698		
	(3) ヒラメ栽培漁業資源回 復等対策事業費	445,000	308,980	136,020		
	(4) 地域栽培推進事業費	332,000	332,000	0		
	3 受託事業費支出	8,835,000	7,871,017	963,983		
	(1) 種苗量産化試験費	3,626,000	3,828,145	0	栽培技術普及指 導費より 202,145円	
		202,145				
	(2) 栽培技術普及指導費	821,000	247,855	371,000	種苗量産化試験 費へ 202,145円	
		202,145				
	(3) アラメ種苗生産費	1,251,000	1,053,848	197,152		
	(4) アラメ藻場造成費	604,000	313,797	290,203		
	(5) クルマエビ中間育成費	846,000	846,000	0		
	(6) 施設維持管理費	1,473,000	1,473,000	0		
	(7) とっとり賀露かっこ 館飼育管理費	214,000	108,372	105,628		



**財団法人 鳥取県栽培漁業協会**  
**貸借対照表**

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	13,678,182	負債	13,678,182
1 現金預金	13,528,877	1 流動負債	13,678,182
(1) 普通預金	13,528,877	(1) 未払金	2,658,106
2 未収金	69,450	(2) 預り金	420,274
3 前払金	79,855	(3) 前受金	10,599,802
固定資産	269,886,234	正味財産	269,886,234
1 基本財産	232,850,000	(うち基本金)	( 232,850,000 )
(1) 投資有価証券	232,500,000	(当期正味財産減少額)	(       58,137 )
(2) 定期預金	350,000		
2 その他の固定資産	37,036,234		
(1) 什器備品	636,234		
(2) 投資有価証券	17,500,000		
(3) 定期預金	18,900,000		
合 計	283,564,416	合 計	283,564,416

### 三 平成19年度事業計画

#### 1 受託事業

##### (1) 種苗量産化試験

種 類	目 標 値	目 標 数
バ イ	殻 高 10 mm	100千個
オニオコゼ	全 長 70 mm	10千尾
イワガキ	殻 高 10 mm (稚貝付着ホタテ殻)	5千枚
早期種苗ワカメ	葉 長 5 ~ 10 mm	種 糸 1,800 m
メイタガレイ	全 長 50 mm	15千尾

##### (2) 栽培技術普及指導

###### 種苗放流

アワビ(15地区)、サザエ(13地区)の放流前の外敵駆除及び放流時の立会い指導、その後の生存状況調査を実施する。

クルマエビ(1地区)の放流時の立会い指導、育成状況把握と生残状況調査を実施する。

###### 養 殖

ヒラメの養殖経営体4地区、アワビの養殖経営体3地区、ワカメの養殖経営体3地区、イワガキの養殖経営体2地区への技術の普及指導を行う。

###### 増 殖

イワガキの増殖事業に取り組む6地区への技術普及指導を行う。

##### (3) アラメ種苗生産

株縄150m、苗板150枚の生産をする。

##### (4) アラメ藻場造成事業

漁業者が行う造成事業に対して技術指導を行う。

藻場の減少した海域及び魚礁などにアラメの移植を行う。

##### (5) 標識用クルマエビ中間育成

栽培漁業センターが試験放流に用いるクルマエビ種苗10万尾を体長28mmから50mmまで中間育成する。

##### (6) ヒラメ中間育成

栽培漁業センターが試験放流に用いるヒラメ種苗 10万尾を全長 30 mm から 100 mm まで中間育成する。

(7) アユ冷水病対策試験

栽培漁業センターが試験放流に用いる冷水病に強い種苗を 4万尾 (体重 5 g) 生産する。

(8) 施設維持管理

栽培漁業センター業務に係る施設の維持管理及び保守を、施設・機器の点検手入れ基準に従って行い、その適正な運転を確保する。

(9) とっとり賀露かにかっこ館飼育管理業務

「とっとり賀露かにかっこ館」で展示するカニ類等の水生生物を収集し、それらの飼育を行うとともに、かにかっこ館の管理運営業務を行う。

2 独自事業

(1) 種苗生産事業

種 類	規 格	生 産 数 量
放流・養殖用アワビ類	殻 長 30 mm	120千個
放 流 用 サ ザ エ	殻 高 9 mm	280千個
放 流 用 ク ル マ エ ビ	体 長 28 mm	2,600千尾
養 殖 用 ヒ ラ メ	全 長 50 mm	10千尾

(2) 展示養殖事業

種 類	規 格	生 産 数 量
ヒ ラ メ	全 長 320 mm	3,500尾
ア ワ ビ	殻 長 70 mm	1千個
ク ル マ エ ビ	体 長 130 mm	7,000尾

(3) 地域栽培推進事業

カサゴ中間育成

漁業者から委託を受け、35 mmの種苗5千尾を80 mmまで中間育成する。

アユ種苗生産

内水面漁業者からの要望により、5 gの直接放流用アユ種苗16万尾の生産を行う。

(4) 栽培漁業資源回復等対策事業

社団法人全国豊かな海づくり推進協会が行う、日本海中西部海域ヒラメ栽培漁業資源回復等対策事業に係るヒラメの市場調査を行う。

(5) 新規事業開拓試験

新たな魚種の種苗生産試験及び養殖試験を行う。

3 栽培技術実証研修

種苗生産に係る最新技術の情報収集及び新技術の実証研修を行う。



科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動支出	89,859	86,057	3,802	
	1 管理費支出	59,807	58,444	1,363	
	(1) 職員給与費	55,140	53,694	1,446	
	(2) 会議費	105	135	30	
	(3) 事務費	4,288	4,015	273	
	(4) 栽培技術実証研修費	274	600	326	
	2 独自事業費支出	17,395	18,778	1,383	
	(1) 種苗生産事業費	13,400	15,402	2,002	
	(2) 展示養殖事業費	3,175	2,599	576	
	(3) ヒラメ栽培漁業資源回復等対策事業費	354	445	91	
	(4) 新規事業開拓試験費	300	0	300	
	(5) 地域栽培推進事業費	166	332	166	
	3 受託事業費支出	10,461	8,835	1,626	
	(1) 種苗量産化試験費	4,304	3,626	678	
	(2) 栽培技術普及指導費	821	821	0	
	(3) アラメ種苗生産費	912	1,251	339	
	(4) アラメ藻場造成費	422	604	182	
	(5) クルマエビ中間育成費	846	846	0	
	(6) ヒラメ中間育成費	800	0	800	
	(7) アユ冷水病対策試験費	676	0	676	
	(8) 施設維持管理費	1,473	1,473	0	
	(9) とっとり賀露かにっこ館飼育管理費	207	214	7	
	4 他会計への繰入金支出	2,196	0	2,196	
	(1) 内水面種苗生産事業特別会計への繰入金支出	2,196	0	2,196	
	投資活動支出	3,628	9,379	5,751	
	1 特定資産取得支出	3,628	9,379	5,751	
	(1) 損害等調整引当金支出	3,628	9,379	5,751	
	当期支出合計(C)	93,487	95,436	1,949	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

(注) 借入金限度額 10,000千円

**財団法人 鳥取県栽培漁業協会**  
**収 支 予 算 書**

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(内水面種苗生産事業特別会計)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
入		千円	千円	千円	
	事業活動収入	2,696	0	2,696	
	1 内水面種苗生産事業収入	500	0	500	
	(1) アユ種苗生産収入	500	0	500	
	2 他会計からの繰入金収入	2,196	0	2,196	
	(1) 一般会計からの繰入金収入	2,196	0	2,196	
	当期収入合計(A)	2,696	0	2,696	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	2,696	0	2,696	
	支	事業活動支出	2,696	0	2,696
1 管理費支出		2,696	0	2,696	
(1) 職員給与費		700	0	700	
(2) 技術研修費		168	0	168	
(3) アユ種苗生産費		1,828	0	1,828	
当期支出合計(C)		2,696	0	2,696	
当期収支差額(A) - (C)		0	0	0	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		